

# 子どもたちの読書環境が ますます充実したものになりました

町では、平成18(2006)年度に「小・中学校の読書活動の充実」による、各学校の図書室の充実と全所蔵のデータベース化、司書の導入などにより読書活動の日常化を図る取り組みが始まり、平成19(2007)年度には全校でデータベース化が完了しました。司書が学校内で活動することにより、学校と町立図書館との連携が密にとれるようになりました。その一部をご紹介します。

▼問い合わせ 学校教育グループ ☎079(435)0545  
図書館 ☎079(437)4500

## 連携により生まれた播磨町教育活動のバックアップ(協力)体制

学校の先生が、多くの資料を活用する図書館司書と、常に子どもたちと接している学校図書室司書が連携しあうことで、子どもたちの学習をバックアップすることができます。



### 連携

- ① 学校・司書・図書館で定期的にミーティングを持つことで、授業に必要な資料についての相談・確認ができ、適宜対応することができるようになりました
- ② 図書室で行うブックトークや読み聞かせの資料提供、各学校へ配布する図書館便り「としまよ」発行など、図書室司書・町立図書館が学校の読書活動を応援しています
- ③ 先生と司書による図書室協働運営と全蔵書データベース化により、貸出返却や予約データが整理された結果、子どもたちが、自身で調べ・読みたい資料を手でできる方法を取得し、充実した読書環境を提供できるようになりました

### トピックス

④ 学校内だけでなく、図書館と連携した事業「図書館を使った調べる学習賞コンクール作品展」播磨町の部「や」蓮池小学校児童による、オスメ図書で紹介カード展」などの開催が、新しい活動場所となり子どもたちの自主学習意欲を育んでいます



▲コンクール作品展

1. 先生と司書による図書室整備

年に1度、学校の先生と司書が協力し、図書室資料の蔵書点検を行います。これは、点検のほかに、蔵書構成を把握し、各分野の資料を充実していく基礎になります。

また、図書委員児童・先生・司書・ボランティアで、図書室レイアウトの変更、本棚の差し込み版作成などを適宜行い、子どもたちにもわかりやすく使いやすい図書室へ日々変化していきます。



▲蔵書点検

### 2. ブックトークの様子

先生や図書委員の子どもが司書の助言を受けながら、読み聞かせやブックトークを積極的に取り入れていきます。子どもたちは、読み聞かせの間はおはなしの世界に入り込み、おはなしが終わってからも興味を持った本に手を伸ばすなど、聞く楽しさが読む習慣につながっています。



▲ブックトークの様子

### 3. 本の展示会「ブックキャラバン」

各分野の図書資料を充実するために、町立図書館・図書室司書より定番資料をリストで提供しています。また、「ブックキャラバン」では、先生・生徒が実際に資料を手に取り、図書室に所蔵する資料を選び、生きた図書室を作り上げていきます。



▲中学校生徒による資料選び



▲情報満載の図書館便り

### データ

- 全生徒数 3,134人(平成21年3月31日)
- 全蔵書数 37,898冊(平成21年3月31日)
- 全貸出数  
2007年 95,945冊(平成20年3月31日)  
2008年 130,102冊(平成21年3月31日)
- 生徒一人平均貸出冊数  
130102冊÷3134人=41.5冊

### インタビュー

図書館で行われた「一日図書館員」に参加した子どもたちに、普段利用している学校図書室と図書館の違いをたずねてみました。

- 学校は本が少なくて迷うほどではないけど、図書館は本が多いのでよく迷う
- 図書館は迷うけど、パソコンで検索をするとこの棚にあるのかもわかるので、とても探しやすい
- 図書館はいつでも図書館の人に本のことを聞ける
- 図書館は一度に借りられる本が図書室より多いからうれしい



▲1日図書館職員(小学生)





### わあい プール はじまる!!



▲上手に「ワニさん」なれるかな

播磨小学校 1年生

今日は、待ちに待ったプール開き！ ちょっぴり冷たいシャワーの水に、思わず、キャーッの声。勢ぞろいしたプールサイドから順に水慣らしした後、歩いたり走ったり…。そして、ワニやアヒルなど、いろいろな動物になりきって、水ととっても「なかよし」になりました。

顔にかかるしぶきをブルルッと首振り、口に入る水は、プーッと吹いて、がまんがまん。



新年度がはじまり、3カ月という月日が流れました。この時期になると3年生の顔つきは、より一層たくましく見えます。なぜなら中学校総合体育大会という大きな節目を目前に、精一杯声を出す姿や主力で練習する姿が、グラウンド・体育館・武道場で見られるからです。中学校に入学して始めた部活動。一つのことをひたむきに努力し、目標に向かって仲間と過ごしてきた3年間。苦しいこと乗り越えてきました。この3年間の経験と身につけた技術、そして「思い」をぶつけるときがやってきました。どの生徒も悔いの残らぬよう歯を食いしばり、最後の最後まであきらめることなく戦いぬきました。戦い終えたその顔には、一つのことをやり遂げたという満足感でいっぱいでした。今後もこの経験と思いを大切に進んでいってほしいと思います。

### ひたむきに



▲ Do my best

播磨中学校 3年生

### 第25回 潮風祭



▲歌声もひとつになりました

播磨南高等学校

播磨南高校最大のイベント、潮風祭。第25回潮風祭は「WBC」世界で一番の文化祭を「World Best Cultural Festival」のテーマで行われました。インフルエンザの影響から、全ての日程がずれて大変でしたが、クラス・部活動、そしてチームが一丸となり、話し合い、用意し、練習してきた成果を出せたと思います。そうした思いの全てが刻まれた作品とともに、一人ひとりの心に忘れられない思い出として残ってほしいと思います。



播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

### わくわく喜瀬川調査隊



▲何がいるか、夢中で探しました

蓮池小学校

6月12日(金)、待ちに待った調査隊の日です。普段はなかなか入ることができない喜瀬川ですが、この日は網を持ち、長靴を履いての出かけです。始めは恐る恐るの子どもたちも慣れてくると服をぬらしたり夢中で網を動かしたり、あちこちから楽しげな歓声が上がりました。エコアップ塾の菓科さんのお世話になり、喜瀬川の生き物の豊かさを感じました。・せんぜん生き物がいないと思っていたけど魚やカエルやカニがいっぱいいました。・わたしは、コイをはじめめてさわりました。コイの大きさを教えてもらいだっこしました。身近な喜瀬川を大切にしたいと願っています。



### みんなでパシャパシャ 気持ちいい!



▲パシャパシャ! つよい足だ〜れだ

蓮池幼稚園

セミがミンミン鳴いている暑い日。今日は子どもたちが楽しみにしている小学校でのプール遊びの日です。はじめは、顔に水がかかるのが苦手だったのでシャワーもちょっとだけ…。でも友達と手をつないだり、何回かプールに入るようになったりしてからは顔にかかっても平気になりました。「ワニ歩きや顔つけてフラフラくぐりにチャレンジしたよ」「友達にたくさん拍手してもらってうれしかった」「みんなで一緒に浮かんだグルグル洗濯機も楽しかったよ」「友達と浮き輪で泳いだよ。みんなでいっぱいあいつ、おもしろかった」着替えも自分で丁寧にできるようになって先生たちにもいっぱいほめてもらってプール遊びが大好きになった子どもたちでした。



### けすぞう君、ありがとう



▲劇をみて、防災を学びます

播磨中央保育園

「何が始まるのかな?」「大きなお鍋の絵があるよ!」と、わくわくドキドキの子どもたち。播磨町消防団女性分団の方がふんしたちびぶた君の登壇に大喜びでした。ちびぶた君がドーナツを揚げようとして火事になりました。子どもたちも不安そうな顔をしていましたが、そこへ消防自動車に乗った、けすぞう君が登場。火を消してくれると拍手をし、ほっとした様子でした。また、花火をする時の注意や消火器の使い方、感知器の設置など、子どもたちにも分かりやすく教えてくださっていました。最後に「火事を出さないように気をつけます!!」と6つの約束を、真剣な表情で復唱しました。

